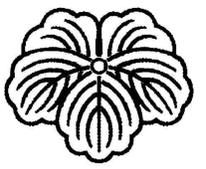


「リゅうま伝」は高野の分身がお客様のところへご挨拶に向う。という気持ちでお届けしています。



リゅうま伝

4号

2020年3月27日
高野竜馬

「コロナのせい?で...」

コロナウィルス、毎日大きなニュースですね。中でも学校が一斉休校になったあたりから対応に困っている方も多いのではないのでしょうか?

我が家では北海道知事が道内の一斉休校を実施した時は賛成した奥さんも安倍首相が全国に向けて要請した際は不信感を募らせたことが私としては妙に興味深い出来事でした。同様のお願いな事も誰が言うのかで、これも反応が違ってくるのかと感じてしまいました。(笑)

さて、コロナウィルスは娘(小学生)の3学期を奪い、娘が楽しみにしていた1/2成人式という学校参観もなくなりました。私もこの行事には参加しようと思っていただけに大変残念でした。その替りに夕飯の後に家族4人で1/2成人式を行いました。

1/2成人式とは10歳(小学校4年)の3学期に将来の夢を発表する場です。娘は学校で読む予定だった作文を読んでもくれました。

娘の夢は「書道家」になることで外国人にも書道の魅力を伝えていきたいというものでした。

なんで外国人なの?と聞くと去年、イギリス人留学生を1日だけホームステイで受け入れた際、一緒に書道をしたのが楽しかったとのこと。

娘は事前に書道の先生に留学生の名前を漢字だとどう表現するのか尋ねていたのでした。ケイシーという留学生に「あなたの名前を漢字で書くところよ」と言っ「恵子」と書いていました。その時のケイシーの笑顔が嬉しかったように外国人に向けて書道を広める仕事をしたいです。

ちなみに、この「リゅうま伝」の題字を書いたのは1年近く前のことですが、親の目から見ても当時とは格段に違う書体に成長を感じます。

娘はこの「リゅうま伝」の文字を見るたびに書き直したいと言ってくれるのですが、私は出来るだけ長くこの題字を使わせて欲しいと言っています。下手なりに一生懸命書いたことが伝わりやすく、これから更に上達していった時、下手だった自分とその「初心」を忘れないようにして欲しいとの願いからです。いつでも自分の原点を確認できるようにしてい

たら、人との比較ではなく、過去の自分との比較で本当の自信を養えるのではないかと思っています。

ただひとつ残念だったのは作文の中に「お母さん」という文字があったのに「お父さん」という文字が無かったこと。少しだけ凹みました。

1月生まれ10年たちましたから始まる親への感謝の歌、

「10歳のありがとう」も出来れば学校で聴きたかったです。コロナウィルスは、娘の1/2成人式以外にも私が相続セミナー講師として登壇予定だった仕事を奪い、春休みの家族旅行も失くしました。そして広く世間を見渡すと、この騒動によって株価は大幅に下落し、世の中はコロナ不況になりつつあります。私はコロナウィルスのせいで出来た時間を、近い将来、コロナウィルスのお蔭でと云える未来に変えていきます。

娘。現在練習中の作品
こんな時だからこそ...

「寿」



たかの財形事務所

〒819-0374 福岡市西区千里 707-13

☎090-3407-2123

https://www.takanozaikai.com メール fp.takano@gmail.com